

加古川市障害者自立支援協議会専門部会 令和5年度活動報告

加古川市障害者自立支援協議会専門部会 事務局
(加古川市障がい者基幹相談支援センター)

各専門部会の令和5年度の活動報告

【くらし・こども専門部会】

□ くらし・こども専門部会 開催：1回

従来の両部会の取り組みを共有し、令和5年度の開催方針について報告と共有を行った。
その後、第1回のくらし部会とこども部会を分けて開催

□ くらし部会 開催：4回

① グループホームサポートシートの完成

- ・令和4年度から協議・作成を進めてきたグループホームサポートシートが完成した。

② 「令和5年度 グループホームサポートシート完成記念研修会」の開催

- ・日 時：令和5年7月14日（金） 13：30～15：30
- ・場 所：加古川市総合福祉会館 大ホール
- ・参加者：31名（共同生活援助、就労継続A・B型、病院等）
- ・内 容：i) BCPについての講義
ii) グループホームサポートシートの紹介と意見交換会
- ・アンケート結果は概ね好評であり、今後のくらし・こども専門部会に期待することとして、事業所間の意見交換の場の提供、障害特性などを学ぶ学習会などがあった。

③ 今後の取り組みについて協議

- ・「令和5年度 グループホームサポートシート完成記念研修会」のアンケート結果から、事業所間でコミュニケーションを取れる連携強化の機会に好感触の声が多く、またその場に相談支援専門員も参加してもらえるとより効果的であるとの意見から、生活支援を中心とした支援者間のネットワーク形成を目的とした交流会を継続開催することとなった。

日時：令和6年2月15日（木） 13：30～15：30

□ こども部会 開催：1回

令和5年度におけるワーキングを中心とした開催方針の協議と活動状況の共有を行った。

- ① 令和4年度は「未就学児」と「就学児」のワーキングを設け協議を進めてきたが、両ワーキング内で就学前後の連動した課題の協議が不可欠となってきたため、ワーキングを併合し「こども支援ワーキング」へと名称を変更し開催することとした。

■ 医療的ケアワーキング 開催：2回

- ① (いわゆる)「動ける医ケア児」について

- ・人工呼吸器の使用や胃ろうの造設があっても身体・知的のいずれも重度でなかった場合は医療支援体制の整った事業所を利用することができない状況がある。
- ・当事者並びに当事者家族からの講演を企画・開催し、現状の生活や不自由に感じることなどの思いを知ることで、今後のワーキングにおける地域課題の共有を行った。

講演者：就労継続支援B型「チッチのお家」蓑田由美氏（当事者）

特定非営利活動法人「アンリーシュ」岡田恵美氏（当事者家族）

参加者：14名（相談支援専門員、行政、圏域コーディネーター、医療・保健、教育等）

- ② 肢体不自由児通所事業所研修

- ・こども療育センター主催研修に後援
- ・こども療育センターの理学療法士より市内の肢体不自由児を対象とした通所事業所の新人職員を対象とした実技研修を開催した。
- ・参加者：11名（7事業所）

■ こども支援ワーキング 開催：3回

- ① こども支援ハンドブックについて協議

- ・神戸市や東灘区で作成されている、障がいのある子どもにかかる支援ハンドブックを加古川市版として作成するにあたり、あり方の意見交換を行った。
- ・媒体や広報の方法、配布先、名称に「障がい」を表記するか等

- ② ライフステージ年表の作成

- ・支援ハンドブックほどの情報をすべて集約したものではなく、まずはライフステージごとで相談できる機関や、利用できる制度・サービスなどを集約した年表の作成を優先して進めることとなった。
- ・各機関から参加しているワーキングメンバーとの情報交換と集約を重ね、年表を作成している。

【しごと・差別解消専門部会】

□ しごと部会 開催：4回

- ① 自立支援協議会はあくまで地域課題を抽出し、またそれを解消に向けて取り組む組織であることをあらためて共有し、「事業所意見交換会」以外での具体的な地域課題の抽出方法について協議を行った。
- ② 「令和5年度 事業所意見交換会」の企画
 - ・日 時：令和6年1月11日（木） 13：30～15：30
 - ・場 所：総合福祉会館 大ホール
 - ・内 容：ワールドカフェ風グループディスカッションを通して顔の見える関係をつくるワークを通して地域課題を抽出する

□ 差別解消部会 開催：1回

- ① 障がい者支援課、加古川市社会福祉協議会、東播磨圏域合理的配慮アドバイザー、基幹相談支援センターの4者で、今後の差別解消部会の取り組みと部会員について検討を行った。
- ② 部会員の検討において学生の参画の提案が出たため兵庫大学に相談。
→ 「定例参加は難しいが、オブザーバーでの参加は可能かもしれない」との回答
- ③ 10月に開催された内閣府主催の「障害者差別解消支援地域協議会 体制整備・強化ブロック研修会」へ事務局が参加し、他市町との情報共有と取り組みについて協議
- ④ 今後については、令和6年1月までに日程を調整し、部会員を増やして開催予定
【内容】（予定）
 - i) 差別解消部会の活動目的について共有
 - ii) 不当な差別的取り扱いケースの協議
 - iii) 令和6年度の取り組み内容について協議 等

【相談支援専門部会】 開催：5回

令和5年度も定例会に加え、多職種連携を図るための制度や他職種における役割・機能を学ぶ「ミルフィーユ会議」の開催、また学校と相談支援専門員とのスムーズな連携を目標として「特別支援教育コーディネーターブロック会」への出席等、活動の幅を広げて開催した。

① 定例会の開催

- ・計画相談にかかるさまざまなテーマ（地域課題、地域づくり、報酬に係る加算 等）を取り上

げ、グループワーク等を通して意見交換を実施した。

② ミルフィーユ会議の開催 (2回)

- ・「夏季就学相談」について学校教育課より説明を受け、質疑応答と意見交換を行った。
- ・相談支援専門員と訪問看護師との連携を図るため、訪問看護ステーションのPRの機会と意見・情報交換会の機会を設けた。

③ 特別支援教育コーディネーターブロック会への参加

- ・部会員が分かれて各ブロックの会議に参加した。

以上